

平成30年度 学期 資料6  
 「いじめ防止対策改善プログラム」に基づくいじめ防止対策取組状況自己点検シート

加古川市立 学校  
 校長

<回答方法>各項目の右の欄にカーソルを合わせると、選択できるようになっています。

※ 1～10の項目について、具体的な実践内容を踏まえ、4段階で自己評価をしてください。  
 (4:できた、3:おおむねできた、2:やや課題がある、1:課題がある)

※ それぞれの項目に関する具体的な実践内容(例:1-1,1-2等)のうち、あてはまるもの全てに○を付けてください。

※ 「2:やや課題がある」「1:課題がある」と回答した項目については、改善策を検討のうえ記入願います。

<未然防止への取組について>

1 互いに認め合い、支え合い、助け合う仲間づくりができていますか		
1-1	いじめが起きにくい学校、学年、学級、部活動の風土をつくることを、いじめの未然防止につながるということを、教職員で共通理解した。	
1-2	すべての児童生徒が活躍する場面をつくりだすことが「いじめに向かわない児童生徒」の育成につながることを全教職員が共通理解した。	
1-3	児童生徒が主体的に自己を成長させる過程を支援する「居場所づくり」を意図的・計画的に行い、絆づくりを育んだ。	
1-4	児童生徒が互いに支え合う体験的な場면을意図的・計画的に設定した。	
1-5	自己有用感を育む視点を、教育活動に活かした。	
1-6	ピア・サポートの活動を取り入れた実践を行った。	
1-7	児童生徒がいじめ防止に向けた取組を主体的に考え、校内で継続した取組を行った。	
1-8	心の絆プロジェクトの活動を、全校生の自主的な活動として反映した。	
1-9	ユニット活動の意図を明確にして実施した。	
1-10	その他( )	
2 命や人権を尊重する豊かな心を育むことができていますか		
2-1	命や人権の問題について、児童生徒自らが体験的・共感的に学ぶことができるように工夫をした。	
2-2	いじめに関する内容を含め、「考え、議論する道徳」への質的転換をした。	
2-3	その他( )	
3 家庭や地域への働きかけができていますか		
3-1	授業参観等を通して、保護者も含めた、いじめ防止への取組を行った。	
3-2	家庭、地域への積極的な情報提供と双方向的な情報共有により、いじめの未然防止のための連携を図った。	
3-3	啓発チラシ等を有効活用した。	
3-4	ホームページや学校だより等を通して、積極的に情報発信をした。	
3-5	その他( )	

<早期発見・早期対応への取組について>

4 学校環境適応感尺度「アセス」が適切に活用できているか		
4-1	「アセス・ハンドブック」に基づいたアンケートの実施をした。	
4-2	アンケート実施後、学年等で検討会を実施した。	
4-3	要支援領域の子どもには、スクールカウンセラー等の専門家も入れたチーム支援を実施した。	
4-4	「学校生活適応推進研修会」に参加した教職員が、内容についてフィードバックをした。	
4-5	要支援領域の子どもについての情報共有の仕組みを確立した。	
4-6	その他（ ）	

5 児童生徒の相談行動の促進ができていますか		
5-1	「心の相談アンケート」を有効活用した。	
5-2	教育相談コーディネーターをリーダーとした教育相談を全学年で実践した。	
5-3	カウンセリングマインドによる教育相談を行った。	
5-4	ハンドブックを活用して、発達段階に応じた自殺予防教育を行った。	
5-5	教育相談を行える環境を整備した。	
5-6	その他（ ）	

6 双方向からの実態把握と情報共有がなされているか		
6-1	保護者との信頼を築くための工夫した取組を行った。	
6-2	保護者の協力を得ながら、子どものSOSのサインを見つけようとした。	
6-3	その他（ ）	

7 研修の充実による教職員の資質と指導力の向上がなされているか		
7-1	いじめの定義や構造について共通認識した。	
7-2	研修を継続的に受けることが、教職員の資質向上につながることを共通理解した。	
7-3	様々な研修に計画的に教職員が参加し、ミドルリーダーを育成した。	
7-4	研修に参加した教職員が、校内でフィードバックした。	
7-5	校内研修を積極的に行った。	
7-6	教職員に「TALKの原則」や「きょうしつ」の考え方が浸透した。	
7-7	その他（ ）	

8 「チーム学校」による組織的な対応がなされているか		
8-1	共通認識のもと、いじめを積極的に認知した。	
8-2	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを有効活用した児童生徒支援を行った。	
8-3	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教職員研修を実施した。	
8-4	一部の教職員で抱え込むことなく、ケース会議等を通して、組織的な対応をした。	
8-5	その他（ ）	

<関係機関との連携を強化した取組について>

9 関係機関との連携を強化した取組がなされているか		
9-1	学校だけでは対応しきれない問題等に関して、関係機関と連携して対応をした。	
9-2	その他（ ）	

<推進体制・検証体制を整える取組について>

10 推進体制・検証体制を整える取組がなされているか		
10-1	普段から教職員間で情報共有し、助け合える関係を醸成している。	
10-2	組織対応するための体制を整備した。	
10-3	「いじめ対応チーム」について、様々な機会を通じて周知した。	
10-4	学期ごとに対策を検証する仕組みを確立した。	
10-5	その他（ ）	

「2: やや課題がある」「1: 課題がある」と回答した項目について、改善策(実施予定取組)を検討のうえご記入願います。

項目番号	改善策(実施予定取組)

各校において、特に重点的に取り組んでいる内容や、学校の実情に合わせた特色ある取組がある場合は、下の欄にご記入願います。

特に重点的に取り組んでいる内容(学校の実情に合わせた特色ある取組)